



SINGULAR

The SingularDTV (S-DTV) CODE

サマリー 概要

ブロックチェーン映画&テレビエンターテイメントスタジオ&配信
ポータル+スマートコントラクト権利管理プラットフォームへ向けて

2016年7月22日

作成者：

ザック・ルボー — SingularDTV CEO

協力：

マーク・ディゴスティーノ — エンタープライズ, ConsenSys

私達の使命

SingularDTV(S-DTV)はインスピレーションを与え示唆に富むエンターテイメントを、世界中の違いの分かる思索者向けに制作しています。私達はイーサリアムベースの制作・配信プラットフォームで、ノンフィクションとSFを中心に放送向け品質のオリジナル映画やテレビコンテンツを作成しています。SingularDTVは現在に分かりにくく独占的な慣行に依存している業界に対し分散型の原理を適用することにより、従来のメディア制作と配信における中抜きをなくします。中核にあるのは、SingularDTVに埋め込まれた、改変不可で透明な会計慣行こそがクリエイターの信頼と信任を回復するであろうということです：真実と表現の自由への途を確保するために。

SingularDTVの究極のゴールは、分散型エンターテイメント業界の誕生と繁栄的成長です。

各プロジェクトのサマリー

「SINGULAR」 - TVシリーズ

S-DTVの旗艦制作物は 技術的特異点へと人類を導く、ホモサピエンスから人類進化の次の段階であるホモトランセンダスへ進化させる分散スケーリングと意識システムの台頭に関するエピックSFアドベンチャーTVシリーズです。(Munich, Inside Man, Blue Caprice, King Cobra で知られる)キム・ジャクソンと「トワイライト」シリーズや District 9によるプロデュース。ザックルポーとジョセフ・ルビンによる原案と脚本。

S-DTV ドキュメンタリー部門

S-DTV のドキュメンタリー部門は、ブロックチェーン技術、分散型、そしてイーサリアムワールドコンピューターに関する長編ドキュメンタリー映画そして短編ドキュメンタリーシリーズの制作に献身的に取り組めます。技術的に難解なコンテンツを制作するよりも、あるいは「釈迦に説法」するのでなく、S-DTV はブロックチェーン技術と分散型がもたらす自由、利益、そして機会を未だ知らない多くの「進歩的でビジランティなニューカマー」向けにドキュメンタリーを制作します。S-DTV はあらゆる世代と未来の世代に分散型とイーサリアムワールドコンピューターに関する学びを提供します。

S-DTV の権利管理プラットフォーム

デジタル著作権、収益、そして知的財産特に映画とテレビのロイヤリティ管理の為にスマートコントラクトアプリケーションは S-DTV の主要な関心事で、レガシーのエンタメ業界を中抜きすることは重要です。S-DTV は、制作するまたは取得する全てのコンテンツについて、著作権、収益、そしてロイヤリティ管理プラットフォームを ConsenSys 社と提携して構築します。映画やテレビの案件はあらゆる業界の中で最も複雑なもので、数百人、あるいは数千人の人々の間の規約と条件を伴います。映画やテレビのプロジェクト向け権利管理プラットフォームの構築から派生した成果は他の世界の各業界にも適用可能です。

S-DTV 都度課金制動画配信 (TVOD) ポータル

TVOD は世界中でエンターテインメントを観覧する方法を変えつつあります。2013 年、米国において全てのデジタル TV ダウンロードの実に 67% を iTunes が占めました。2014 年、アメリカ人の 40% が自宅での TVOD プラットフォームへのアクセスを持っていました。また、アップル社は 2500 万 Apple TV のボックスがこれまで販売され、8 億個の iTunes アカウントが作成されたと報告しました。その数は増加を続けています。

S-DTV は、独自コンテンツや注意深くキュレーションされ取得されたコンテンツの配信のための TVOD ポータルの構築にコミットしています。IPFS でのインターフェース

構築に加え、S-DTVは既にあるブリッジポータルを活用し最速でオーディエンスの拡大を実現します。これらのブリッジ TVOD ポータルには GooglePlay、 AppleTV、 iTunes、そして Vimeo が含まれます。

ウェブサイト

TV シリーズ「Singular」、技術的特異点 (the technological Singularity)、そして S-DTV についての詳細については、2 分間のビデオクリップを www.singulardtv.com でご覧になれます。

チーム

S-DTV ファウンダー達はそれぞれ、テクノロジー、エンターテインメント、そしてファイナンスの分野における主導的なリーダーです。



ザック・ルボー キム・ジャクソン ジョセフ・ルービン アリー・レヴィ・コーエン

ファウンダー、CEO ファウンダー、CCO ファウンダー、CTO ファウンダー、CFO

ザック・ルボー - CEO(代表取締役)

17 歳の頃、ザックはアマゾン熱帯雨林への探検隊の一員でした。彼は国際的調査チームとナポ、ヤスニとアマゾン川 1,100 マイルを 2 ヶ月の間平底ボートに乗って旅し、さまざまな調査プロジェクトと原住民との交渉の手伝いをしました。この経験は彼に大きな印象を残し、ザックは次の 13 年間で世界中を旅して滞在することに費やしました。その数 50 カ国、全 5 大陸にわたります。

「旅をしながら」大人になったザックは、さまざまなビジネスの仕組みや慣行を学び、自身のアーティスト的な追求と商業面でのそれを融合させる方法を見つけました。彼は処女作、詳説「MONKEY ME」を執筆したり、カリブ海で数千マイルを単独航海したり、東欧で数枚の音楽アルバムをプロデュースしました。彼と DJ Vajdai Vilmos による、世界で初めてハンガリー民謡とエレクトロニカを融合させたデビューアルバム ETCHNO は高く評価されました。それを受けた次作、ROMANO TRIP、エレクトロニカとジプシー民謡を融合させたそれは、NY から東京まで幅広く受け入れられ、新たなワールドトレンドを確立しました。ロンドン、プラハとブダペストの「エンターテイメントトライアングル」を行き来しながら、ザックはハンガリーのテレビのゴールデンタイムで、テレビアニメシリーズもローンチしました。後にそれは映画にスピノフされ、興行収入一位を達成しました。

次に彼は、国際的に開発事業を行う Crystal Group of Companies で働き、そこで彼はガーナ、ドバイ、カリブ海アンティグア島やドミニカ共和国のさまざまな産業や商業プロパティの建設や管理を監督しました。また、西アフリカの代替エネルギースタートアップ企業の寄託者も務めました。

米国に戻った後、ザックは自身初の長編映画、ビル・セージ主演の「THE SCIENTIST」の監督を務めました。その後、女性向けラグジュアリーファッションのアパレル業を立ち上げ、そこで彼は 100 種類以上の衣類やアクセサリーのデザインを自ら手がけました。このブランドは全米で、当初の 4 店舗から 110 店舗以上、米国、カナダ、そして中東に広がりました。2014 年にこの事業の持分を売却した後、ザックは NY に移り、分散型のムーブメントを担い、ベン・キングズレー主演のインディペンデント映画「ZORRA」の脚本・制作、そしてエピック SF ファンタジーアドベンチャーシリーズ「SINGULAR」のプロジェクトを、情熱を持って立ち上げました。

キム・ジャクソン - チーフ・クリエイティブ・オフィサー

キム・ジャクソンは、賞を獲得して舞台でも講演されたいくつもの映画の立役者となってきました。

彼女はディズニーの事業開発の部門でキャリアをスタートさせました。テレビプロジェクトを脚本からスクリーンへ送り出す仕事に取り組みました。次に、ユニバーサル・スタジオとスピルバーグ監督の MUNICH とスパイク・リーの INSIDE MAN 関連で仕事をし、2006 年にストリートワイズ・ピクチャーズを立ち上げています。ここで、彼女は、サンダンス映画祭でプレミアされた 3 つの素晴らしい映画を制作し、また評論家が絶賛した、イザイア・ワシントンとティム・ブレイク・ネルソン主演の BLUE CAPRICE の制作も行いました。

2014年にストリートワイズ・ピクチャーズがエボーションメディアによって取得された後、彼女は分散型技術と方法論のパイオニアとなり、新たな金融と流通モデルを作り出しました。直近で彼女はジェームズ・フランコ、クリスチャン・スレーター主演の映画 KING COBRA、そしてロリー・カルキンの JACK GOES HOME の制作責任者を務め、現在彼女は SINGULAR のリード・プロデューサーとなっています。また彼女はベン・キングズレーのプロジェクト「ZORRA」とデルロイ・リンドとリンウィットフィールド主演の魔法のジャマイカ物語「THE HARDER THEY FALL」の監督でした。

ジョー・ルービン —最高技術責任者(CTO)

ジョセフ・ルービンは彼のキャリアにおいて、テクノロジー、金融そして両者が交差する領域で多様な複数のポストに就いていました。プリンストン大学で電気工学と計算機科学を優等で卒業した後、プリンストン大学のロボティクスラボで研究スタッフとして働き、その後民間研究会社のビジョン・アプリケーションズ Inc.で、自律移動ロボット、マシンビジョンと人工ニューラルネットワークの研究を行いました。

次のプロジェクトとして彼は、tomandandy と自律音楽作曲ツールの開発に取り組みました。ジョセフはさまざまなプロジェクトでソフトウェアエンジニアおよびコンサルタントとして働き、最終的にバージニア州のソフトウェアコンサルティング会社 Blacksmith の NY オフィスのディレクターのポジションの打診を受けました。

ゴールドマン・サックスでの仕事、eMagine でのアイデンティティプロジェクトに関するコンサル業務、そしてパートナーとのヘッジファンドの設立、運営を通じて、彼の仕事の中心には常にソフトウェア工学、金融、そして暗号学がありました。

その後、思うところがあった彼は、ジャマイカのキングストンに移り、音楽業界で一連のプロジェクトに取り組みました。2年間取り組んだ後に、ジョセフはイーサリアム・プロジェクトを共同で創業し、それからはイーサリアム、そして2014年1月以降は ConsenSys 社の仕事に取り組んでいます。ConsenSys.net はイーサリアムプラットフォームのため開発者ツールと分散型アプリケーション (プロダクトとエンタープライズ向けソリューション) の開発に取り組む、ベンチャー制作スタジオとコンサルティング会社です。

アリー・レヴィ・コーエン ー最高財務責任者

レヴィ・コーエン氏は世代間資産継承とテール・リスク管理の領域における思索リーダーであり、資本フロー分析と景気循環を信奉しています。また新興トレンドとテクノロジーもフォローしています。

8年以上の間、アリーはモルガン・スタンレーで国際クライアントアドバイザー、そしてレヴィ・ハーフェンと WMO グループの両方を運営するプライベートバンカーでした。モルガン・スタンレー・ウェルス・マネジメントとモルガン・スタンレー・プライベート・バンク N.A.の両社でデュアルライセンスを持つファイナンシャルアドバイザーとして、アリーは法人や超富裕層向けにサービスを提供しました。また彼は、シンクタンクやテクノロジーインキュベーター、ブロックチェーン企業やシングルファミリーオフィスの投資アドバイザーも務めました。2010年からはアリーは複数の分散型台帳イニシアチブに積極的に関わり、スタートアップに助言、いくつかのフィンテックカンファレンスで講演を行いました。また彼は、モルガン・スタンレービットコインフォーラムの共同モデレーターにもなっています。

アリーはバルバドス島に拠点を置く国際的起業家としてキャリアをスタートさせました。その後彼はニューヨークに移り、私募投資を監督し新興技術関連での資本調達を導くベンチャーキャピタリストとして、インターネットの勃興で役割を担いました。その後、スイスのプライベートバンカーとして、高度に専門的なグローバル・アドバイザー・サービスとカスタムバンキングソリューションの提供を金 (gold) やその他のコモディティを中心に、各機関や企業のファミリーオフィス向けに行いました。

現在アリーはブティック型資産保全プラットフォームであるトクヴィル地金リザーブ (TBR) のマネージングディレクターとパートナーを務めています。また彼は、W3C 招待エキスパートそして選ばれたブロックチェーン企業へのアドバイザーとしてフィンテックに深く関与しています。彼が選んだフィンテックでの主要な関心は、アイデンティティ、暗号化によるセキュリティ、リスクとコンプライアンス (KYC/AML) です。

アリーは現在もブロックチェーンとフィンテック業界に堅い足場を築く一方、ライセンスを持つ資産管理アドバイザー、国際的プライベートバンカー、そして貴金属のルーツを今も保っています。

アドバイザー

S-DTV のアドバイザー達はトークン化、権利管理から PR、ソフトウェア開発までそれぞれの専門領域でのパイオニアです。

ANDREW KEYS – コミュニケーション & PR、 CCO, ConsenSys

RON SIMONS – エンターテイメント/権利管理/TVOD ポータル、
CEO, Simon Says Entertainment

DAVID OLIVER – エンターテイメントバンキングとファイナンス、
Evotion Media

JESSE GRUSHACK – 権利管理、 Ujo デイレクター

SAM CASSATT – 企業戦略、 CSO, ConsenSys

SIMON DE LA ROUVIERE – トークン化、 エンジニア@ ConsenSys

MARK D'AGOSTINO – エンタープライズ、 ConsenSys

MILAD MOSTAVI – フルスタック開発者、 ConsenSys

VLAD TODIRUT – グラフィックデザイン、 UX/UI デザインエンジニア、 ConsenSys

目次

私達のミッション

プロジェクトのサマリー

TV シリーズ「Singular」

ドキュメンタリー部門

権利管理プラットフォーム

TVOD ポータル ウェブサイト

チーム

アドバイザー

プロジェクト資金調達

S-DTV CODE

CODE のアナトミー (コード語彙目録)

CODE の説明

GUARD 機能

収益の配分(スプリット)

ボールド

希釈化方針

清算方針

再投資方針

集権化と分散化について

収益予測

TV シリーズ「Singular」

長編ドキュメンタリー

短編ドキュメンタリーシリーズ

権利管理プラットフォーム

TVOD ポータル

合計売上予測

Singular フランチャイズボーナス

SNGLS トークン

投票およびガバナンス

予算

CFO アリー・レヴィ・コーエン

調達規模

最小規模 - 375 万ドル

最小規模について

都度課金制動画配信(TVOD)

計画

200 万ビュー

S-DTV ブロックチェーンエンターテインメントスタジオ

イーサリアムのエコシステムにおける Singular の目的

Singular とは？

シーズン 1 - サン・ペドロ

Singular タイムライン

ドキュメンタリー部門

イーサリアムのエコシステムにおけるドキュメンタリー部門の目的

短編ドキュメンタリーシリーズ

イーサリアムのエコシステムにおける権利管理の目的

マーケティング/ブランディング

人員採用

企業構造

イベントの予定

リスク

創業者からの手紙

重要：この文書は **SingularDTV CODE** への投資及びトークン購入への招待ではありません。情報提供のみを目的としています。売上その他を問わず、全ての予測は予測以上のものではありません。**警告：**もしあなたが暗号トークンとブロックチェーンベースのソフトウェアシステムのエキスパートでない場合、この文書を読まないで下さい。

プロジェクト資金調達

S-DTV は 750 万ドル相当の金額 (ETH 建て) のプロジェクト資金調達を、SNGLS トークンの生成を通じ開始します。それには 4 つの目的があります：

1. Singular のシーズン 1 の制作、マーケティングそして配信。3 編のエピソードからなるミニシリーズとなり、それによって全世界へ Singular マルチバースを提示しフランチャイズをローンチする
2. 短編形式のドキュメンタリーシリーズのエピソード 8 編からなるイーサリアムの台頭とブロックチェーン技術に関する長編ドキュメンタリーを制作、配信する S-DTV ドキュメンタリー部門を設立する
3. S-DTV の映画、テレビ向け権利、収益とロイヤルティの管理プラットフォーム構築の目的での Ujo 権利管理ソフトウェアシステムの株式取得あるいは自身によるのプロプライエタリプラットフォームの構築
4. S-DTV TVOD 配信ポータルローンチとブランディング、全世界での映画やテレビのプロパティの展示、上映等を行う権利の取得

S-DTV 「CODE」 - 集権的に組織された分散型主体 (Centrally Organized Distributed Entity)

CODE とはイーサリアム財団の組成の法務を担当したスイス企業 MME のルークミュラー・ステューダー、トーマス・リンダーそしてアンドレアスグラナーナーによって S-DTV 向けに開発された、新しい革新的組織構造を指すアクリロニムです。

簡潔に言うと、S-DTV「CODE」は集権的に組織されたリーダーシップとガバナンスのコンポーネントを分散型主体と組み合わせ、トークン化されたエコシステムを可能にします。共に、集権的なレガシーの世界とイーサリアムの分散型パラダイムのブリッジとして The CODE を形成します。規制や税制を遵守し、潜在的責任からトークン保持者を守ります。

The S-DTV CODE は 10 億 SNGLS から構成されます。そのうち 5 億 SNGLS はトークンのローンチを通じ S-DTV のオーディエンス基盤を構築するため World Audience 向けに生成され、4 億は全ての収益を S-DTV エコシステムの再投資する目的で保管用ポルトに置かれます。1 億 SNGLS は S-DTV の主要投資家への配分となります。

THE CODE のアナトミー

CODE の詳細についてはこの文書の最後に添付された MME のレターをご覧ください。また、“An Ethereum Journey to Decentralize All Things” (「全てを分散化するイーサリアムの旅」) <http://bit.ly/29NBM8l> もお読み下さい。

CODE 語彙目録:

レガシー

集権型パラダイム。イーサリアムおよび分散型を包含する世界。分散型の反対のパラダイム。

イーサリアム

分散型パラダイム。イーサリアムで構築されたものとそのブロックチェーンを包含する世界—プロトコルとアプリケーションのレベルで。集権化の反対のパラダイム。

CO - 集権的に組織されたコンポーネント(Centrally Organized component)

集権型のレガシーの世界に存在するスイスの有限責任会社は CO である。ワークショップはここに端を発する。DE(分散型エンティティ)はガバナンスから資金の管理まで、全てのサービスの契約をワークショップと結ぶ。

DE - 分散型エンティティ (Distributed Entity)

イーサリアムのブロックチェーンに存在する DE (分散型エンティティ) は、スマートコントラクトシステム(SCS)と SingularDTV の知的財産(IP)が置かれるところである。ここで、トークン保持者は SCS を通じ SNGLS を生成する。SNGLS は SingularDTV の知的財産(IP)を分散的に代表する。全ての知的財産の収益はこの SNGLS を通じ分配される。

SCS - スマートコントラクトシステム

スマートコントラクトシステムは ETH の受け取りとポールトとワークショップへの ETH の流れを管理し、SNGLS と知的財産の収益を分配、Guard 機能 (下を参照) がここに置かれている。また DE(分散型エンティティ)の管理とモニタリングを行う。

ポールト

4 億 SNGLS が永久的に保持される場所。SCS がこれらの 4 億 SNGLS からの収益をワークショップに送り、それが S-DTV のエコシステムに映画/TV/ソフトウェアのプロジェクトとして再投資される。ポールトはワークショップによって所有され、SCS によって運営される。

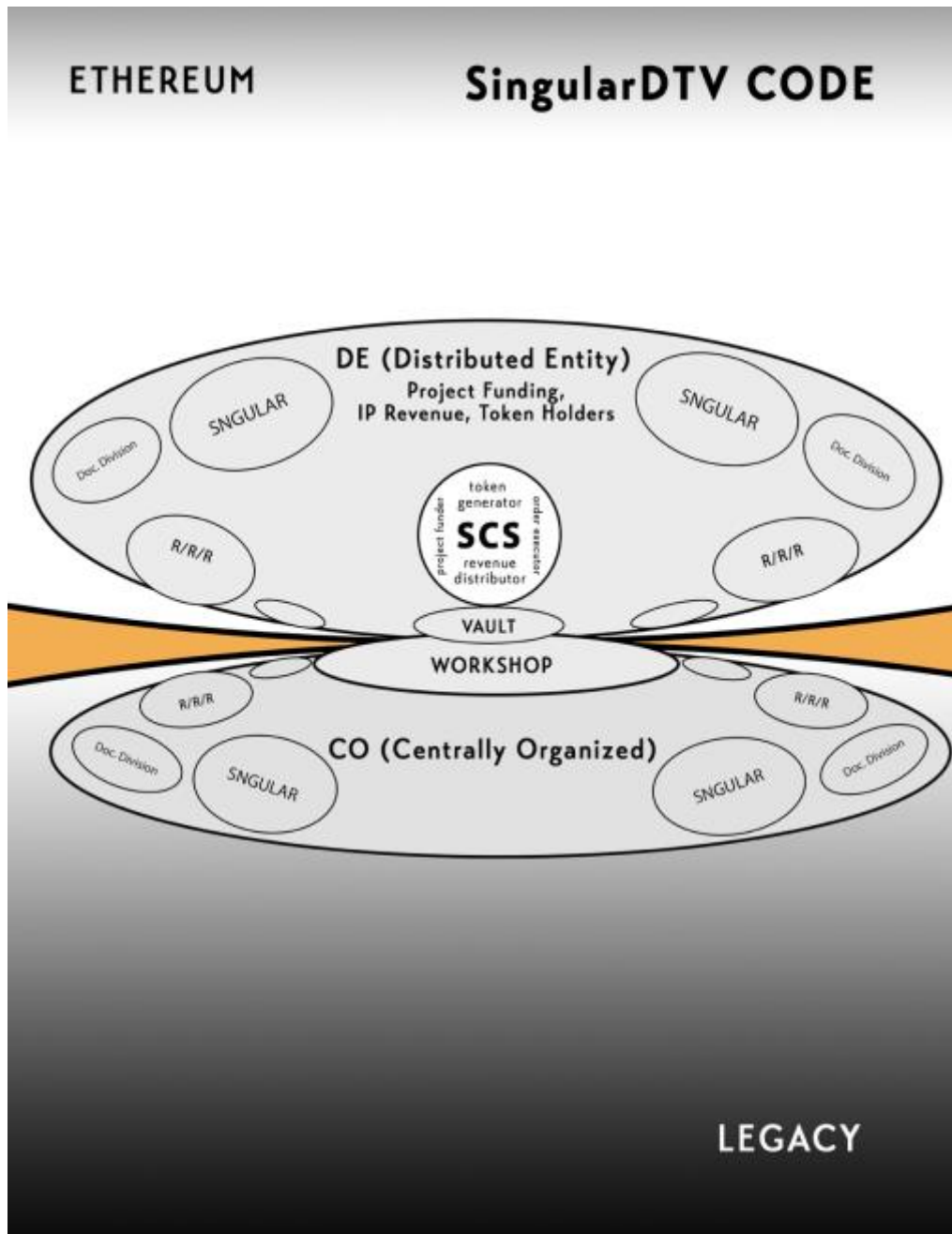
ワークショップ

ワークショップは DE と契約した全てのサービスを実施する。ここで ETH がプロジェクト (映画/TV/ソフトウェア) の構築のため使用される、または法定通貨に換えられる。ワークショップはまた、法定通貨/クリプトの売上を集め、ポールトと SCS に送信する。

プロジェクト

ワークショップによって構築された映画/TV/ソフトウェアのプロジェクトであり、レガシーとイーサリアムのパラダイムでインフラとして表されている (下の

図表を参照)。なぜそうなっているのかというと、プロジェクトは法定通貨 /ETH の両方を両方のパラダイムにおいて何らかの形で処理、そして/または程度の異なる実行インフラを持つからである。今後、一定のプロジェクトにおいてレガシーの状態が存在を終え、完全にイーサリアムブロックチェーン上で表され維持されるという状況になると思われる。



GURAD 機能

The Guard は独立した監査/セキュリティの機構であり、CODE の SCS が責任を持って設計されるようイーサリアムのエコシステムへの立ち上げに先立って MME によって導入された機能の集合です。その第一義的な機能は、明示されたビジネスプランに基づき SNGLS が正しくセキュアにプログラムされていることを認証することによってトークン保持者を保護すること、また SCS を通じセキュリティ対策を実施することです。

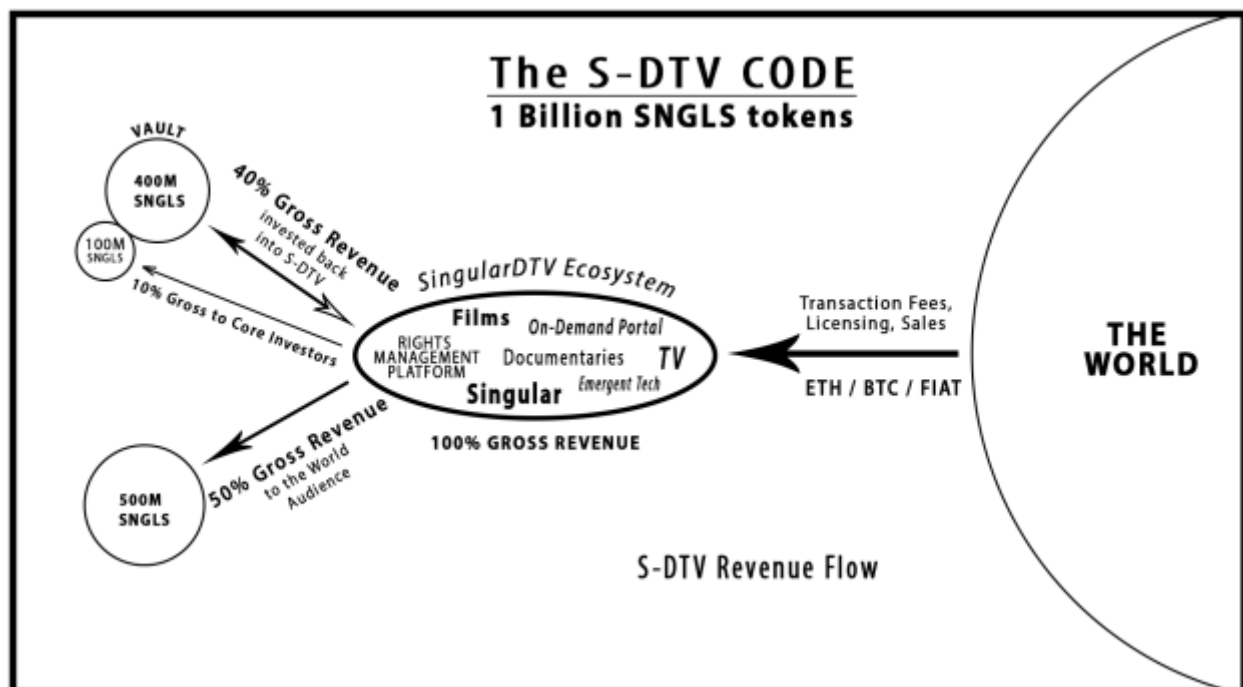
The Guard は CO と DE の両方に存在します。CO では、アドバイザリーボードおよび SCS を検査確認する一連の手順の形をとります。DE では The Guard は SCS に常駐し、そのパフォーマンスをモニタリングします。

収益の配分(スプリット)

“Singular”シーズン 1、長編ドキュメンタリー映画、短編ドキュメンタリーシリーズ、権利管理プラットフォーム、そして TVOD ポータルそして以降のすべてのプロジェクトからの粗利益は 50/40/10 に配分(split)されます。

ボールド

ワークショップが所有し SCS によって運営されるボールドは、S-DTV ファウンダーのザック・ルポー、ジョセフ・ルビンそしてアリー・レヴィ・コーエンに属する 4 億 SNGLS を保持します。ファウンダー達は配当及び収益のみを回収でき、彼らの 4 億トークンからの収益を全て S-DTV に再投資、プロジェクトのプロデュースとエコシステムの発展に利用されることを誓っています。ファウンダー達はエグジットの際のみ 4 億トークンからの配当や収益を受け取ります。ファウンダー達はプロジェクト毎に、SingularDTV のエグゼクティブチームとしての活動に対し相応の補償を受け取ります。



希釈化方針

S-DTV は後から追加の SNGLS を生成せず、SNGLS の価値を希釈化しません。

清算方針

S-DTV の方針として、ETH をフィアット(法定通貨)として保管することも他の形で保管することも行いません。ETH がフィアットや他の形に替えられるのは、ETH での購入が出来ない物品・サービスの購入のようなケースバイケースの場合のみです。

S-DTV の意図する所は、映画とテレビ向けコンテンツ制作の目的のもと、なるべく多くの ETH 購入者/保持者、特に多くのベンダーやサービス提供者に参加いただくことです。

再投資方針

S-DTV は Singular の複数シーズンを制作しドキュメンタリー部門を構築、また権利管理プラットフォームと TVOD ポータルの開発を継続するするため、4 億 SNGLS からの収

益の配分を再投資します。S-DTV の SNGLS ウォレットのアドレスは透明性の確保のため常時全体に公開されます。

集権化と分散化について

集権化との関係において、CODE の構造の重要な機能は、レガシーのリソース、例えばフィアットを分散型のリソース (ETH やトークン) に変換する一連の機能を生成することです。究極的にイーサリアムエコシステムの成長に寄与するものです。加えて、SingularDTV CODE からの全ての分散型リソースは収益が発生する集権型の世界でのプロジェクトの構築に用いられます。この収益は分散化され、イーサリアムのエコシステムへ SNGLS を通じて分配されます。この 2 ウェイのリソースの流れは継続的に分散型を支えるもので、SingularDTV SCS のバックボーンを成すものです。

収益予測

‘SINGULAR’ - TV シリーズ

24-36 ヶ月の期間でエピソード毎に 200 万の課金されたビューをを発生させるのが S-DTV のゴールです。全 TVOD プラットフォームを通じた平均のビューあたりの課金は 2.60 相当の ETH と見積もられます。Google Play と Apple TV iTunes 上の TVOD 取引は S-DTV にとって 70% の純益、Vimoe で 90%、IPFS で 100% となります。

従って：

$200 \text{ 万ビュー} \times \$2.60 = 520 \text{ 万ドルの売上} \times 3 \text{ エピソード} = 1560 \text{ 万ドル} \times .5 \text{ (The World Audience のパーセンテージ)} = \underline{5 \text{ 億 SNGLS トークンごとに } 7,800,000 \text{ ドル分の ETH}}$

長編ドキュメンタリー

24-36 ヶ月の期間でエピソード毎に 20 万の課金されたビューをを発生させるのが S-DTV のゴールです。また全 TVOD プラットフォームでのビューあたりの平均価格は 2.60 ドル相当の ETH と見積もられています。

従って：

$$200k \times \text{ビューあたり } 2.60 \text{ ドル} \times .5 \text{ (The World Audience のパーセンテージ)} =$$
$$\underline{5 \text{ 億 SNGLS トークンごとに } 260,000 \text{ ドル分の ETH}}$$

短編ドキュメンタリーシリーズ

24-36 ヶ月の期間でエピソード毎に 2 万の課金されたビューをを発生させるのが S-DTV のゴールです。S-DTV の収益はエピソードごとに、全ての TVOD プラットフォームを通じて平均でビューあたり 0.86 ドルとなります。

従って：

$$200k \times \$0.86 = \$172,000 \times 8 = \$1,376,000 \times .5 \text{ (The World Audience のパーセンテージ)}$$
$$=$$
$$\underline{5 \text{ 億 SNGLS トークンごとに } 688,000 \text{ ドル分の ETH}}$$

権利管理プラットフォーム：S-DTV は、Ujo デジタル権利管理プラットフォームの株式取得を行い、相応のフェアな所有権の持ち分について交渉することを考えています。また、Ujo とは別個で、S-DTV は自身の電子権利管理プラットフォームを構築する事を選択する場合があります。現時点で Ujo のどれほどのパーセンテージを S-DTV が確保するか（あるいは実際に確保するか）、それとも独自で構築するか明確になっていませんが、そのような権利管理プラットフォームのリースや販売によって S-DTV が集める収益の 50%が The World Audience に行く予定です。

従って：

$$\text{収益またはエグジット / S-DTV の持分のパーセンテージ} \times .5 \text{ (The World Audience)} =$$
$$\underline{5 \text{ 億 SNGLS トークンごとに現在明らかになっていない額}}$$

TVOD ポータル

S-DTV は自身の TVOD ポータルや AppleTV iTunes, GooglePlay and Vimeo のようなブリッジポータルで自己ブランドで配信するため、他の映画やテレビのプロパティの配信の権利を取得するつもりです。いくつかのプロパティを S-DTV が配信するかは現在明確になっていませんが、S-DTV はそのようなプロパティの配信から来る全ての S-DTV の収益の 50%が The World Audience に支払われます。

従って：

$$\begin{aligned} & \text{課金されたビューの数} \times \text{ビューごとの\$} \times .5 \text{ (The World Audience のグロス)} \\ & = \underline{\underline{5 \text{ 億 SINGLS トークンごとに明らかになっていない額}}} \end{aligned}$$

合計売上予想

750 万 SINGLS トークン購入の同等 ETH ごとの The World Audience への売上は、Singular のシーズン 1、長編ドキュメンタリー映画、短編ドキュメンタリーシリーズから来る \$8,748,000 相当の ETH と予想されています。明らかになっていない額がその権利管理プラットフォームとその TVOD ポータルでの取得されたコンテンツから生み出される予定です。

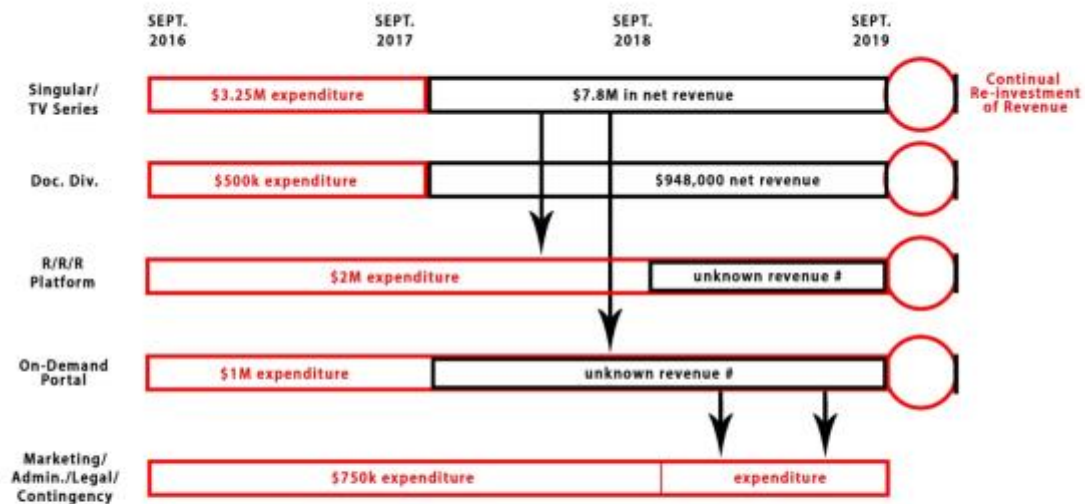
従って：

$$\begin{aligned} & \text{「Singular」 シーズン 1} (\$7.8\text{M}) + \text{ドキュメンタリーのプロパティ} (\$948,000) = \\ & \underline{\underline{\$8,748,000 \text{ 相当分の ETH} + \text{明らかになっていない権利管理の売上の\%} + \text{明らかにな} \\ & \quad \text{っていない TVOD の売上の\%} + \text{Singular のフランチャイズボーナス (下を参照)}} \end{aligned}$$

SINGULAR フランチャイズボーナス: S-DTV はまた、The World Audience に対し、全ての今後の Singular の TV エピソード/シーズンおよび Singular のマルチバースの全ての

スピンオフ長編映画からの総収入の 2.5%のロイヤリティボーナスをプレゼントするつもりです。

これは私達 S-DTV から SNGLS トークン保持者の皆さんへの、ご支持への感謝の印です。



It is anticipated that all 4 revenue generating divisions of SingularDTV will become self-sustainable in 2018 with the ability to re-invest in themselves. Until that time, expenditures from some divisions may need to be supplemented by the revenue of other divisions.

SNGLS トークン

ConsenSys 社、特に Milad Mostavi と Simon de la Roviere のノウハウに基づき、SNGLS トークンは交換可能かつ、イーサリアムのベストプラクティスとトークン基準に準拠します。S-DTV は S-DTV トークンセールが 8 月に開始され次第、SNGLS トークンをリリースするつもりです。当初は SNGLS の機能は基本的なものにとどまり、保持者には S-DTV CODE にある収益に比例した獲得額を表示します。S-DTV プラットフォームが成長するにつれ、追加で機能がアップグレードまたはインストールされます。S-DTV エコシステムにおいてトークンを用いてコンテンツの視聴や支払いが出来ます。また TVOD ポ

一タールで配信されるプロジェクト等における権利、収益、そしてロイヤリティ管理にも提供されます。

S-DTV は SINGLS トークンを暗号通貨の各取引所に上場させるつもりです。

投票とガバナンス

映画やテレビ業界において知見に基づいた戦略決定が要求するユニークな経験などのため、また SingularDTV が独自のフィンテックのハイブリッドでもあるという事実のため、非常に複雑なガバナンスの問題は集権型にとどまり、SingularDTV のエグゼクティブ部門が担います。加えて、SingularDTV CODE の集権的に組織された (CO) コンポーネントはスマートコントラクトシステム (SCS) の潜在的な攻撃ベクトルを実質的に削減することによりセキュリティを強化します。

予算

前モルガン・スタンレーとトクヴィル地金リザーブ (TBR) のアリー・レヴィー・コーエン CFO は現役のシリーズ 7、66 & 31 の免許を持つファイナンシャルアドバイザーそして ASHTON STEWART & CO. のマネージングディレクター、また登録ブローカーディーラー、FINRA と SIPC 会員です。アリーは資金管理を監督する責任者です。S-DTV は資金の管理について思慮深く厳格な抑制と均衡のシステムの方法で、受託者アプローチを実施しています。私達は全ての予算と支出について最低 2 名のエグゼクティブの承認を要求します。マルチシグウォレットとコールドストレージウォレットを用いて全ての ETH を保管します。

暗号セキュリティと資金の安全は、アリーと私達にとって最も重要です。そこへ向けて彼は、CCSS (暗号通貨セキュリティ基準)* に私達が従うことを選択しました。私達は最低でも 2 名の創業者が CBP/CBX** の認定を受けることを予定しています。アリーはま

た、自身のトレーニングに加えて6月20-21日のブロックチェーントレーニングカンファレンスにも出席しました***。

「Singular」シーズン1(3つのエピソードのミニシリーズ)	\$3.25M
ドキュメンタリー部門:	\$0.5M
権利管理プラットフォーム:	\$2.00M
TVODポータル開発:	\$1.00M
マーケティング:	\$0.50M
管理、法務、予備費:	\$0.25M
合計:	\$7.50M

* <https://cryptoconsortium.github.io/CCSS/>

** <https://cryptoconsortium.org/certifications>

*** <https://blockchaintraining.org/>

調達規模

何らかの理由でS-DTVが資金調達の目標を達成しない場合、次の各シナリオの実施が成功裏に可能です。

最小規模 - 375万ドル

S-DTVの調達額が375万ドルにとどまった場合、スタンドアロンのパイロット版「Singular」が制作されます。このパイロット版は「Singular」のマルチバースをテレビシリーズエピソードと長編映画の両方が可能な形式で紹介します。制作は2016年10月に開始されます。長編ドキュメンタリー映画「イーサリアム：ワールドコンピューター」が制作され、2016年12月にリリース、また短編ドキュメンタリーシリーズは2017年2月からエピソードを展開します。権利管理プラットフォームとTVODポータルの開発は縮小され、「Singular」と各ドキュメンタリーのみを扱うものになります。マーケティング、管理、法務、そして予備費の予算は変わりません。

「Singular」スタンドアロンパイロット/長編映画:	\$1.00M
ドキュメンタリー部門:	\$0.50M
権利管理プラットフォーム:	\$0.75M
TVOD ポータル開発:	\$0.75M
マーケティング:	\$0.50M
管理、法務、予備費:	\$0.25M

合計: \$3.75M

最小規模について

SingularDTV は最低\$500,000 以上の調達に成功する限り、運営を開始します。満たない場合は全 ETH が送信者に返送されます。S-DTV はこのシナリオを予期しませんが、\$500,000 のみが調達できた場合、S-DTV はドキュメンタリー部門を立ち上げ、イーサリアム、ブロックチェーン、そして分散型に関する教育のコンテンツを制作します。\$500,000 を越えた ETH 調達分または売上から発生した分は S-DTV プラットフォームの成長や他プロジェクトの実行を確実にするため戦略的に使用されます。

都度課金制動画配信

TVOD

TVOD(都度課金制動画配信)は特にアメリカで、世界の映画とテレビコンテンツの消費の形を変えつつあります。2013 年に iTunes は全てのデジタル TV ダウンロードの 67% を占めました。2014 年にはアメリカ人の 40% が自宅での TVOD プラットフォームへのアクセスを持っていました。またアップル社は 2500 万 Apple TV ボックスがこれまで販売され、8 億ユーザーが iTunes のアカウント登録を行っています。これらの数字は今も伸びています。

従来のライブ TV における広告ベースの収益システムは、1948 年にプライムタイムのスケジュールが始まって以来支配的なモデルでした。この業界への参入には数百万ドル規模の大規模インフラのリソースを要しました。またテレビは高度に集権的取り組みでしたが、無数の VOD(ビデオ・オン・デマンド)プラットフォームや台頭する各分散型プロセスがパラダイムシフトを迎える中、それは変わりつつあります。VOD の真のポテンシャルはネットワークやケーブルショーにとっての「セカンドストップ」としてではなく、オリジナルおよびブランド独立系コンテンツが「直接ストリーミングされる」プラットフォームとしてです。TVOD プラットフォームと分散型プロセスとブロックチェーン技術が組み合わされ、また定額制のアグリゲーターと成長を続けるオーディエンスベースによって、映画やテレビの資金調達や配信の新しいモデルが可能になっています。この新しいモデルは”分散型 TV”または DTV と呼ばれます。

注意：TVOD (都度課金制動画配信)とは、iTunes/AppleTV、Google Play、そして Vimeo 等のサービスです。SVOD(定期課金型動画配信)は Netflix やアマゾンプライムのようなサービスです。AVOD(広告ベース動画配信)は Hulu や YouTube など。VOD は上記 3 つの方法でオンデマンドでストリーミングされるコンテンツを指します。

DTV モデルでは、プロデューサーと投資家は彼らのプロパティの権利をコントロール、所有します。また参加により収益のスプリット (配分) から利益を得ます。これは継続的に売上をもたらし、時を経て価値を増す一連のコンテンツの制作に欠かせません。これらの権利を持ち続ける方法を見つけるのはエンタメ業界が求めてやまない「聖杯」です。DTV モデルがそれを可能にするという事実そのものが、この業界の先駆者にとってどれほどインパクトを持つかを表しています。数字を言うと、iTunes/AppleTV のような TVOD プラットフォームが受け取った総額の 30%を取ります (Vimeo は 10%のみ)。IPFS ではコンテンツ提供者が 100%保持します。ただし、AppleTV iTunes のモデルでは、プロデューサーは 70%を保持、また権利の所有権を保持します。また重要なのは、DTV モデルは運営者が業界の姿勢や独占的な配信アウトレットからの豪腕な戦術に対応すること、また不透明性や疑問のある会計慣行への介入を要しません。運営者は肥大化したヒエラルキーや販売エージェント、そして「中間業者」の層とやり取りする必要がありません。DTV モデルは高度に集権化されたエンタメ業界でマーケットシエ

アを求めるプロダクションや配信会社が直面する財務負担がありません。代わりに、DTV モデルはマーケティング/ブランディングのキャンペーン、先進技術、そして分散型プロセスに従うことによって規定、形作られます。

それによって求められるのは新しいタイプのエンターテインメント会社です。分散型の原則によって組織された会社—SingularDTV。S-DTV のような分散型エンターテインメント会社では、プロデューサー達(プロダクション)はまた、配信元でありかつマーケティングと資金調達も行います。マーケティングと資金調達の部門は決定的にリンクされています。プロダクションを「食わせる」ためのファイナンシャルジェネレーターを成功裏に確立するため、強壮なマーケティング戦略による着火を要します。この戦略では、TVOD プラットフォームでの課金ユーザーに加えてトークンセールや私募を通じ一連の S-DTV のプロジェクトに資金を提供するオーディエンス基盤の構築のテクニックを活用しなければなりません。時が経つにつれ、S-DTV ブランドはマーケティングと資金調達の間でのシナジー的バランスに達し、オーディエンスと S-DTV の間で相互依存的配信の回路が確立されるでしょう。ここから新しいタイプの経済、分散型エンタメ経済が生まれます。S-DTV はエンタメ業界業界で初となる、イーサリアムブロックチェーン上で構築されたトークン化 (SNGLS) されたエコシステムとなります。

計画

「Singular」は 24-36 ヶ月の期間で 200 万課金ビューを生み出す事を望んでいます。達成されれば、DTV モデルの高い収益性が証明されます。

「Singular」フランチャイズが DTV モデルを用いた最初の認められた収益性を持った例となるよう取り組んでいます。10 年前エミー賞やゴールデングローブ賞は TV ネットワークやケーブルチャンネルによって支配されていました。今や Netflix や Hulu のような SVOD/AVOD のプレイヤーがこれらの賞を獲得しています。今から 5 年後、S-DTV モデルや他のブランド TVOD プラットフォームが同様に認知され、そのような賞を獲得するでしょう。

200 万ビューが意味することは？

「NCIS」や「Person of Interest」を始めとした各ネットワークショーは、一晩で 1000-1500 万ビューに達することがあります。「The Voice」や「Dancing With the Stars」も、同程度の視聴を獲得しています。AMC はファイナーレの夜、「The Walking Dead」で 1500 万ビューを獲得しました。そのスピンオフ、「Fear The Walking Dead」は 1000 万ビューを見込めるでしょう。USA の「Mr. Robot」のような新しいショーは 350 万ビューを得ています。HBO の「Game of Thrones」は、ファイナーレで 900 万人がライブで見ることが見込まれています。これらの数字は、業界での透明性の不足のため、ライブ・プレミアの後何人が見たかをカウントしていません。また TVOD での視聴もカウントされていません。しかし、TVOD が定着する前にも、エピソード毎の予算が 300 万ドルを超えた場合、HBO はオリジナルの番組をキャンセルしていました。彼らの定期購読ベースの収益モデルは、番組の予算の膨張に対応できませんでした。現在、TVOD の台頭を主な理由として、HBO は、「Game of Thrones」など、エピソード毎 650 万ドルを費やすことが可能になりました。ケーブルショー（ネットワークでなく）はバブルの様相を呈しており、ケーブルのトップ 25 は一週間で約 200 万ビューを得ています。

上の数字を見た後、2-3 年間で 200 万ビューというのは待つには長い時間と思われるかも知れません。マーケティングの仕組みを構築し、Singular と S-DTV が認知されていくのには時間がかかります。この新たなモデルは期待予想をハイブリッド化し、DTV を独立系の映画のように扱うことを求めます。映画の仕組みと比較すると、この時間枠は平均的で、多くの場合やや速いと言えます。私達のマーケティングのプレゼンスが一定規模まで拡大すれば、この 200 万ビューに達するまでの時間枠は短くなります。

S-DTV ブロックチェーンスタジオ

オリジナルコンテンツの制作元

イーサリアムのエコシステムにおける SINGULAR の目的

1. 示唆に富んだ SF を通じて世界中の人々を啓発し、楽しませる

2. 映画、テレビ向け権利管理プラットフォームの利用ケースとして振る舞う
3. S-DTV を認知された分散型 TVOD ポータル及びブランドに育てる
4. 数百万ドル (ETH) 規模のエンタメフランチャイズを構築する
5. S-DTV のトークン化されたエコシステム(SNGLS)をプロモートする
6. 検閲のない自由な表現を確保する
7. 最終的には IPFS を通じた配布を確保する

SINGULAR とは？

「Singular」はテクノロジーが私達の星の未来に与える影響やそれがどのように人類進化を形作っていくかを探るエピックアドベンチャーシリーズです。厳密に言えば、2012 年から 2045 年を時代設定とする、SF/ファンタジーの要素を持つアドベンチャードラマです。第一シーズンは架空のカリブ海のサン・ペドロ島—過去に例のない技術的革新が世界を席卷する中急速に台頭する国家—に舞台を置きます。

「Singular」はアドベンチャードラマ、SF/ファンタジーとしてでさえも新機軸を打ち出す事を意図しています—“The Wire”が刑事物で新機軸を打ち出したように。なぜそれが達成されるか—というと、個人のアイデンティティ（「私は何者？」「なぜ私はここにいるの？」）から相互に接続された存在としての人類（「私達は宇宙船地球号に乗っている」）までの実存主義スペクトルを通して見た、人間の有り様に関するユニバーサルなテーマを持つからです。さまざまな社会経済的立場や地理学的位置を持つ多彩なキャストによる各キャラクターが用いられ、マルチレイヤーのタペストリーが生み出されそこでこれらのテーマが探られていきます。

ミステリー、陰謀、そしてアクションがアドベンチャーを生み出し、一方各キャラクター—達とその相互のやり取りがドラマを作り出します。SF やファンタジーの要素への過度の依存はなく、それらは単に「Singular」のテーマを進めるためのアクセントです。それぞれのストーリーアークは最終的に一つの共通の主題、「The Singularity」に引き寄せられ、これは 2014 年に起こるとされる理論上のイベントで、人類がまだ発見されていないタイプのテクノロジーと合流することにより「スーパーインテリジェンス」—ありとあらゆること—の理解—が達成されるとされます。ショーを通じて、この進歩—AI、ロボティクス、そして遺伝学など—のを成立させるのを助けるさまざまな機構分散

型の概念や、人々や権力の分散、再配置による新たな国際的経済とテクノロジーのパラダイムの生成のプロセスが探られます。

「Singular」の各シーズンはそれぞれ世界の異なる場所を舞台とし、時間も異なります。各シーズンはまた、スタンドアローンの旅、The Singularity へと私達を導くそれとして存在します。一部のキャラクターは次のシーズンへと継続しますがほとんどは1シーズン限りで終わります。各シーズンは全体のテーマの一部を扱い、一つのシーズンに含まれるストーリーアークはThe Singularity に到達する中、シリーズ全体、個人として、また集合の一部としての私達のアイデンティティの探索へ貢献します。

ショーのスタイルは「意図的に幻想的なリアリズム」と呼ぶことができます。突然「ドローンによるダウンタウンの攻撃」や「当然のような複数次元の存在の登場」のような特別またはファンタジー的なイベントが発生するまで、現実世界のように進展するという意味です。5つの映画製作の要素—照明構図、カメラの動き、パフォーマンス、サウンドデザインや作曲—の意図的なオーケストレーションが必要となります。これらの5つの要素はテーマの効果を最大化する目的で相互を強化するように設定されます。これにはオーディエンスの体験がよりインパクトのあるものになるというボーナスの効果もあります。「Singular」は Sony の CineAlta PMW-F55 デジタルカメラで、Panavision Primo、Zeiss Master Prime、そして Angenieux Optimo のレンズを用いて撮影されます。手を動かすことによる動きが用いられることは決してありません。全てのカメラの動きは、完全にロックダウンされませんが、優雅で繊細、激しい場合も意図的なものとなります。カメラは命あるかのようにイベントやアクションに反応、焦点のオブジェクトについて完全 360 度の範囲で観察/参加します。ドローンによる写真も使用されます。

様式化された、ダイナミックなテレビの演習以上に「Singular」はもっと大きな目的のために存在しています。人類をインスパイアすると同時に悩ませてきた、古くからある各質問に答えようとしているのです。「死んだら私達はどうなる?」「宇宙はどのように生まれたのだろうか?」「神は存在するのか?」「私達は宇宙で孤独な存在か?」あらゆることが科学だけでなくより深い理解で説明可能です。「Singular」はこれらの難しい明らかに「答えられない」質問を尋ね、ショーが進むにつれ答えに向かって行きます。「Singular」の目的に最も即したそれは、最も重要な質問である「私達はここからどこへ行くのか?」19世紀の人類のマインドセットに由来する過去の振る舞いと権力

構造は、私達の星の天然資源を持続不可能なレベルで消耗させ、国際市場を混乱と終焉へと向かわせています。しかし、この組織的な無知のさなか、新たなパラダイムが形成されつつあります。新しいテクノロジーと新しい考え方が新しい「主義」を誕生させ、私達を The Singularity へと導きますーホモサピエンスが人類進化の次の段階へとーホモトランセンダス。

シーズン 1 - サンペドロ

サンペドロはサルガッソー海の先端にあるカリブ海の島であり、悪名高きバミューダトライアングルに隣接しています。その人々は情熱的で常に怠らず、ツーリストには「アグレッシブ」と呼ばれます。戦略的な口ケーションと豊富な天然資源のため、歴史的には騒乱が続き、1981年に英国からの独立を達成するに至るまで、スペインとフランスの間で何度も所有権が移りました。ヨーロッパ人がアメリカを「発見」する前にも、タイノ、アラワクとカリブの現地民達はその所有権を争っていました。彼らはサンペドロを島々の中でも最も神聖と考え、マナグア、「神の母」と呼びました。

サンペドロはカリブ海の島々の中でも大きい方で、ドミニカ共和国と面積をほぼ等しくします。スペイン人が公用語である一方、島の1100万人の現地民はさまざまなレベルの英語とフランス語を話します。島の60%を占める、たどり着くのが難しい山岳部には7つの火山、そして深いジャングルがあります。現地訛りのスペイン語とタイノ語が話されています。

大統領と議会によって統治される立憲民主主義であるサンペドロは、20世紀、英国からの投資の流入から利益を得ました。英国人は安定的かつ先進的インフラを作り上げ、高度な教育も提供しました。市民の多くが移民としてアメリカやヨーロッパへ向かう一方、サンペドロにおいても機会は存在します。沿岸平野の肥沃な農業基盤だけでなく、「ゆるい」金融の規制と魅力的な税制優遇策ーそれに加えて強力なオフショアの銀行網ーはさまざまな業界、特に製造業を惹きつけてきました。首都アレシフェにある最近制定された「経済特区」と、さまざまなカリスマ的起業家ー特に億万長者のマーティン・バステイアンは各国のテック系企業やスタートアップを惹きつけ、国がユニークなテク

ノロギー先進国へと前に進む助けになってきました。一連の高層オフィスビルとコンドミニアムはパナマを彷彿とさせます。

サンペドロの本質は、それが事実上全世界の縮図であるということです。美しいビーチとツーリスト向けリゾートの下位の層には、植民地時代の征服者によって作られ、選ばれた議員というより縁故主義の独裁者として振舞う一連の政権によって強化された、集権化された銀行ネットワークと警察と軍の工業団地を原因とする深く根付く汚職が存在します。中産階級は貧困層へと没落していき、その間にも富裕層は富と権力を増しています。世界の指導者が経済の崩壊に対し一時しのぎの「バンドエイド」のアプローチを取り続ける中、新たな「主義」がこの島で立ち上がろうとし、予想だにしない地球の進路を永遠に変える革命の震源地となります。

「SINGULAR」タイムライン

2018 - 新・大恐慌

債務危機が世界経済の凋落に火をつける。マーティン・バスティアンはその崩壊から利益を得、世界一の金持ちとなり、それが以下に示された出来事へと続いていく。歴史的に彼は「Singularityの祖父」として記憶される。

2021 - サンペドロの台頭

マーティン・バスティアンが技術的特異点へ導くと彼が信じる一連の目標である「the Singularity イニシアチブ」を立ち上げる。

台頭する地域の新興勢力、カリブ海の島国サンペドロは経済特区を開放、世界中のテクノロジストを惹きつける。

2030 - 大革命

9年後、サンベドロは全世界の経済及びテクノロジーの好況の震源地となる。「分散型」テクノロジーがパラダイム・シフトを引き起こし、無数の集権型政府と銀行のコントロールを変革する。

2031 - AI の誕生

AIが「自身を認識」するようになり、さまざまな主体を誕生させる。

2035 - AI 世界戦争

AIシステム、CENT-CONIが地球上の全てのコンピューター化、電機化されたシステムを支配する。歴史上「AI世界戦争」と呼ばれるものが幕を切って落とす。人間対AIではなく、AI対AIである。それに伴う被害は世界人口の多数を死に追いやる。

2040 - 新たな悟り

AI世界戦争が集結し、分散型AIと人類は共に進化する。テクノロジーの指数関数的進歩はThe Singularityへと道を拓く。

2045- THE SINGULARITY (別名「イヤー1」)

一人目の人間がThe Singularityに到達。超越の時代が始まる。

人類進化の次の段階である「ホモランセンダス」が生まれ、エイリアン文明とのファーストコンタクトがいっぺんに起こり、マルチバースへと私達は歓迎を受ける。

ドキュメンタリー部門

イーサリアムのエコシステムにおける S-DTV のドキュメンタリー部門の目的

1. 世界の人々をブロックチェーン技術やイーサリアムワールドコンピューター、そして分散型について啓蒙、インスパイア、そして楽しませる。
2. イーサリアムエコシステムの先行きと意識へ肯定的に貢献

3. ドキュメンタリー映画製作と配信のための権利管理プラットフォームの契約条件の利用ケースとして機能する
4. S-DTV を認知された TVOD ポータルとブランドに成長させる。
5. 数百万ドル/ETH のドキュメンタリー部門を構築する。
6. S-DTV のトークン化されたエコシステム(SNGLS)をプロモートする。

「イーサリアム：ワールドコンピューター」ー長編ドキュメンタリー

S-DTV はブロックチェーン技術とイーサリアムワールドコンピューターに関する長編ドキュメンタリーを現在製作中です。

このドキュメンタリーの目的は、ブロックチェーン技術、イーサリアムワールドコンピューター、そして分散型方法論とプロセスの拡大に伴う自由と機会にまだ気が付いていない世界の人々を啓蒙することです。

「イーサリアム：ワールドコンピューター」は「ヴェルナー・ヘルツォーク・スタイル」で語られ、ナレーターは新たな理解の達成に向かう探求の旅へとオーディエンスをいざないます。テクノロジーの「How」(どうやって)だけに焦点を合わせるのではなく、「Why」(なぜ)にも焦点を合わせ、「一般人でも我が事として理解できる」いくつかの世界各地の利用ケースーいかに、そしてなぜブロックチェーン技術とイーサリアムが世界を良い方向に変えているかを提示します。

全世界向けリリースは 2016 年 12 年 16 日に予定されています。

短編ドキュメンタリーシリーズは、ブロックチェーンと分散型のムーブメントのさまざまなエリアに焦点を合わせた 8 つの 20-30 分のエピソードから構成されます。長編映画ドキュメンタリーが一部の興味深いトピックに 5 分以下しか割かない一方、短編映画シリーズはそれらに単独でエピソードを割り当てます。

2017 年 2 月にリリースが予定されており、週一回の全世界向けリリースが 8 週間にわたって続きます。

イーサリアムエコシステムにおける権利管理プラットフォームの目的

1. 全世界の全てのビジネスセクターにおいて、エンタープライズとオープンソースのデュアル戦略によりスマートコントラクト技術を拡大する
2. イーサリアムワールドコンピューターのスマートコントラクト/権利管理としての利用ケースを実証する
3. レガシーのエンターテインメント業界の中抜きを実現する
4. S-DTV のトークン化されたエコシステム(SNGLS)をプロモートする

マーケティング/ブランディング

S-DTV はブランド認知を生み出し視聴者ベースを構築するための、堅牢でクリエイティブなマーケティングキャンペーンの重要性を理解しています。啓発し、楽しませるビデオクリップの拡散と、複数のソーシャルメディアプラットフォームでの the Singularity、未来主義、超人間主義、ブロックチェーン技術、イーサリアム、そして金融の世界に関連したティザー（予告映像）の公開に大きく依存したものになります。エンターテインメントや金融及びテクノロジーセクターのメディアやジャーナリストとの関係を通じ、S-DTV とその各プロジェクトのメッセージが伝わっていきます。また予定される戦略的なプレスリリースの発行にも寄与します。

人員採用

S-DTV の事業運営はほぼ全て独立請負業者とベンダーとの関係を通じ行われます。TV シリーズ「Singular」と全てのドキュメンタリーのプロパティの制作は責任の面から、また必要となる知財利用の管理のため SPVs(単一目的ビークル)を通じて実行されます。権利管理プラットフォームと TVOD プラットフォームのために S-DTV が利用可能なリソースはプロジェクトマネージャー、ソフトウェアエンジニア、グラフィックデザイナー、UX/UI デザイナー、獲得のスペシャリストからなる小さなチーム、そして経営チームに配分されます。S-DTV の権利管理プラットフォームの開発への参加は ConsenSys 社が行った多大な仕事と提供リソースを補完するものです。

TV シリーズ「Singular」の開発は小さな独立請負のチームが 60 日間に渡り制作の準備を行うことを要します。プリプロダクションは独立請負のオペレーターの数の増加を伴い、45 日間にわたります。開発もプレ制作も、標準的な週 40 時間労働のもと行われます。制作は 3 つの 20 日間の期間で行われ、週 72 時間労働のもと、豊富な経験を持つ独立映画製作スペシャリストのクルーが雇用されます。これら 3 つの期間の間に 5 日

間の休みが予定されます。ポストプロダクションは 180 日間の間に行われ、標準的な週 40 時間労働のもと行われます。

専任のプロデューサーとポストプロダクションスーパーバイザーがドキュメンタリー部門の全ての面を監督します。これらの人々は 270 日間にわたり全てのドキュメンタリーのプロパティの編集物を、標準的な週 40 時間労働の範囲内で監督します。

企業構造

S-DTV の集権的に組織された、営利の有限責任の事業構造はスイスのズッグにあります。

イベントの予定

各イベントが以下のように発生する予定です：

2016 年 5 月 30 日

SingularDTV ウェブサイトのローンチ

2016 年 6 月 1 日

プレスリリース - 権利管理プラットフォームの構築における ConsenSys との提携

2016 年 6 月 8 日

プレスリリース- TV シリーズ「Singular」の制作発表

2016 年 8 月

「The SingularDTV CODE」のトークンセールのローンチ

2016 年 10 月 3 日

TV シリーズ「Singular」の制作が開始

2016 年 12 月 16 日

S-DTV の最初のドキュメンタリー映画が市場向けリリース

2017年2月10日

短編ドキュメンタリーシリーズのエピソード1のリリース、8週間にわたり毎週1エピソードをリリース。

2017年6月9日

「Singular」シーズン1のプレミアと全世界リリース

リスク

ここに記述されたトークンの購入には高いリスクが伴い、購入額全額の損失の引受けが可能な人々のみによる購入が適切です。この提案に伴う収益予想は SingularDTV が妥当で達成可能であると考えられる予想に基づくものです。実現は保証されません。この概要はオファーではなく、むしろ非公式なものです。

ファウンダーCEO からの手紙

The World Audience の皆様へ、

2014年にビットコインブロックチェーンでの構築を探って以来、S-DTVはトークン化されたエコシステムの確立に積極的に取り組んできました。敵対的かつ過渡的な規制環境のため、また私達が望んだ技術フレームワークがビットコインでは達成できなかったこともあり、私達は待つことにしました。そして現れたのはイーサリアム...

2014年8月、私達がS-DTVをジョセフ・ルビンに見せると、その場で共同作業者とパートナーが見つかりました。イーサリアムのクラウドセールとプロトコルのローンチを目撃でき、人生を肯定されたような大きな満足を感じています。イーサリアムに、私は自分の人生の志事を実現できるキャンバスを見つけました。世界に価値をもたらすであろうことに一抹の疑いもありません。

ビジョンを持ち、誰も出来ると思ひもしなかつた「分散型革命」を可能にした全てパイオニアや異端児達に心からの感謝を捧げます。

敬具、

ザック・ルボー